

広島空港、チェックイン時のタッチパネル非接触化を実施

～「JAL SMART AIRPORT」の非接触の取り組みを進めます～

2021 年 4 月 20 日

JAL は現在、「JAL SMART AIRPORT(*1)」の取り組みとしてすべてのお客さまに安全・安心な空の旅をお届けするよう、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを実施しています。

(*1) IT の活用によるきめ細やかなヒューマンサービス、最新技術の活用による効率的で快適なセルフサービス、衛生・清潔への取り組みにより提供する JAL の新しい空港です。

この度、広島空港において、自動チェックイン機のタッチパネルを非接触化します。

1. 自動チェックイン機のタッチパネル非接触化について



【1】概要

空港内の自動チェックイン機にタッチレスセンサ(*2)を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、ご搭乗手続きをしていただけます。タッチレスセンサから出る赤外線(*3)により、お客さまは画面に触れることなく機器を操作することができます(*4)。

(*2)日本エアロスペース株式会社の製品 <https://www.j-aero.co.jp/products/airclick/>

(*3)タッチレスセンサから出る赤外線は一般家庭用機器で使用するものと同じです。

(*4)画面からの距離は自動チェックイン機: 2.5cm で設定。

【2】導入時期・場所について

◆ 4 月 20 日より広島空港の自動チェックイン機で使用開始

JAL は今後も、最新のテクノロジーを駆使し、空港や機内などさまざまなシーンにおいて、衛生的で清潔な環境でお客さまをお迎えするための取り組みを強化し、安全・安心なサービスの提供に努めてまいります。

以上